

会 議 録

会議名	平成21年度第2回 山陽小野田市男女共同参画審議会	
開催日時	平成22年2月9日(火) 午後2時～午後3時15分	
開催場所	山陽小野田市役所3階 第二委員会室	
出席者	安部 寛二 有田 光枝 池田 容子 磯部 直美 上田 拓士郎 岡田 美弥子 河野 安則 嶋田 真里子 前田 英子 水田 愛子 篠原 孝允 富永 恵美子	
欠席者	石原 匡一 金子 信幸	委員数 14名 出席者数 12名 欠席者数 2名
事務局	市民活動推進課長 主幹 主事	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「さんようおのだ男女共同参画プラン実施計画(平成21年度)」に係る実施状況報告(平成21年12月末現在)について (2) 市配偶者等暴力相談支援連絡協議会における構成団体の相談状況等について(報告) (3) 第12回「女と男の^{ひと}一行詩」一次審査について (4) その他 5 閉会 	
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 「さんようおのだ男女共同参画プラン実施計画(平成21年度)」に係る実施状況報告(平成21年12月末現在)について <p>事務局</p> <p>「さんようおのだ男女共同参画プラン実施計画(平成21年度)」に係る実施状況報告書(平成21年12月末現在)については、各委員へ事前に配付し、内容確認をお願いしたので、報告書の読み上げは省略し市民活動推進課所管施策について、一部報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施策「男女共同参画に関する意識調査」の実施について説明 ○施策 意識啓発のための講演会の開催等 内容 「女と男の一行詩」鑑賞会の開催について説明 ○施策 市広報等による啓発について説明 ○施策 配偶者・パートナーからの暴力への対策の推進について説明 ○施策 企業や民間団体における女性参画の要請について説明 	

	<p>委員 県の認証制度を周知するために、市として市内事業者に対して広報活動・啓発をされているのか。また、申請してはどうかという働きかけはしているのか。</p> <p>事務局 県の認証制度については、創設された際に、県が市内企業に説明に回っておられる。その後も、企業訪問されている。訪問企業数については、把握していないが、市としては市内企業に対し、認証に関する働きかけはしていない状況である。</p> <p>委員 市が直接企業に要請することは無理だと思うが、制度を周知する方法がとれば、申請企業も増えてくるのではないかと。商工労働課の事業実績で、国からの啓発資料等を庁内に備え付けたとの報告が3箇所ある。庁外・市内業者への周知が必要ではないか。商工会議所・ライオンズクラブ・ロータリークラブ等の団体に対し、何かの機会に説明する方法もあるのではないかと。県ホームページでは、93事業者が登録されている。推進事業者から2人が審議会委員として参画されている。事業者同士の集まりや推進事業者から宣伝してもらおうなどの方法もある。県が推進しているのであれば、市も男女共同参画推進のために何か方法をとってはどうか。</p> <p>市長 県より市の方が市内事業者の様子はよく把握している。県が訪問する際には市が紹介する。ご指摘のとおりであり、平成22年度の宿題とさせていただきたい。</p> <p>会長 書面だけでなく、周知徹底で進めるのがよい。</p> <p>委員 西部石油が認証事業者に入られた経緯は県からの要請なのか。金融機関は入っていない。商工会議所、JC等に委員で啓発活動ができればお手伝いしたいと思う。</p> <p>市長 審議会の委員が引き受けていただければ大変有難い。平成22年度何かお願いする際には、協力いただきたい。</p> <p>2 市配偶者等暴力相談支援連絡協議会における構成団体の相談状況等について 相談件数等の集計資料に基づき、相談状況等を報告。</p> <p>3 第12回「女と男の^{ひと}一行詩」一次審査について説明</p> <p>委員 ある程度点数がそろった場合には、審査が別になるということか。</p>
--	--

	<p>事務局 今までは、予備審査の段階で学校応募分も一緒に絞り込んでいた。年齢等は表記していないため、児童・生徒作品だとはわからない状況である。作品数が多い場合には、多くの中から多い目で選考していただくのがよいと考え、予備審査の段階から学校応募分は、別に絞込み、一次審査も学校応募分は別に選考していただくという案である。</p> <p>委員 応募点数によるということですね。</p> <p>事務局 案としては、そのように考えている。</p> <p>委員 応募が少ないために小学生の視点が埋もれてしまうのは、惜しい気がする。今の子どもがどう思っているのか知る意味でも、児童・生徒の作品については、別にした方がよい。</p> <p>事務局 応募数に関係なく、別にした方がよいという意見ですね。他の委員さんの意見も伺いたい。</p> <p>委員 学校では、応募は先生の負担になるのだろうか。</p> <p>委員 別にした方がよいように思う。</p> <p>委員 児童・生徒の応募の範囲については、市内学校からですか。県内、全国ですか。</p> <p>事務局 全国各地の学校から応募がある。昨年市内学校からの応募作品数が少なかったため、今回は市内学校に取組についてをお願いをした次第である。</p> <p>委員 教育であるので、先生が負担と捉えるか、人権教育として教えるのかの違いである。各学校の先生に任せてよいのではないか。</p> <p>委員 一行詩を考える過程において、認識が変わってくるのではないか。</p> <p>副会長 担当教諭は一人である。浸透するかどうかにある。人権関係の募集については、担当の先生による。高校生になればできると思うが、小・中学生はそこまでいかないと思う。</p> <p>委員 学校関係については、強制することは難しい。趣旨を考えた場合、</p>
--	---

子どもの視点から応募してくるのではないか。強制ではなく広まってくる過程の中から、それくらいでよい。学校応募分は別にした方がよい。多くの応募があった場合、選考については慎重にすべきである。

委員

家族・親子で考えてみるといった家庭内の話題の一つになると見方も違ってくるのではないか。

会長

多くの意見が出たが、事務局どうですか。

事務局

学校応募分は別にした方がよいとの意見であるので、そのように進めていきたい。

会長

やまぐち女性財団のライブラリーが、カリエンテ山口にあり、第1回から第11回の一行詩の冊子を置いている。市内だけでなく、山口にもあり、貸し出しもできることをご周知いただきたい。

4 その他について

副会長

市長がおられるので、人事関係で、市職員、男性が育児休暇をどのくらい取得しているのか。市広報”市長から市民のみなさんへ”の記事で、4年間で206名減少、今年3月末40名前後の退職者がおり、補充計画は今年末に策定するとあったが、人数の関係と育児休暇を男性が取得する比率が違ってくるのではないか。

事務局

前回の審議会開催時には、男性の育児休暇取得は実績なしであったことを確認しているが、その後の取得については未確認であるため、人事課に確認し、報告したい。

副会長

女性の休暇取得者は多いのか。

市長

産前・産後、育児休暇となる。職員採用を控えていたが、有資格者を一部採用した。7名採用のうち採用後2名から産前休暇の申請が提出され、約2年半休みとなるが、人事課長から山陽小野田市にとって有難いことであるとの意見があり、意識の切り替えをしている。男性の育児休暇取得に対する反対意見は、市役所の中にはないと思う。市職員減少に伴い、育児休暇取得は難しいのではないかについて、補充を控え、スリムになってきたが、県下13市の中で見ると職員数が少ない所はまだある。

副会長

退職者により、現状ではマイナスですか。

	<p>市 長 マイナスではない。人口千人あたり、職員が何名いるか。職員1人あたり何名の市民のお世話をしているかについては、県下13市では真ん中あたりであり、もう少しスリムになるという状況である。合併当時から比較し、職員数が減ったのは事実である。市役所職員は、いくらでも仕事はつくることのできる。やる気があるかないかである。</p> <p>事務局 人事課に男性の育児休暇取得について、確認し、30歳代男性が12月1日から1月8日まで育児休暇を取得したことを報告。</p> <p>会 長 一番忙しい時だけ取得されたのでしょうか。</p> <p>副会長 男性は休むと他に迷惑をかけるという意識があるのではないか。</p> <p>市 長 男性の沽券にかかわるという意識もあるように思う。一人でも画期的なことである。</p> <p>副会長 資料の児童福祉課の報告で家庭の日(11月第3日曜日)の推進とあるが、市としては家庭の日のPRはしているのか。</p> <p>市 長 先ほどの一行詩の取組について、家族ぐるみで考えてみてはどうかという意見は素晴らしい。</p> <p>委 員 自治会活動においては、あいさつすることを大切にしている。またその日あったことを家庭で話し合えることが大切。市役所の入口に「第3日曜日は家庭の日」のポールがあったが、今はなくなっている。できれば何かの機会に立てることができ、家庭の日の推進ができればよいと思う。</p> <p>市 長 もう1回立てます。副会長は、それと一行詩を組み合わせればもっとおもしろいということですね。</p> <p>委 員 親子で一緒に考えながらやってもらえるとよい。</p> <p>5 閉会</p>
--	---